

経営比較分析表（令和5年度決算）

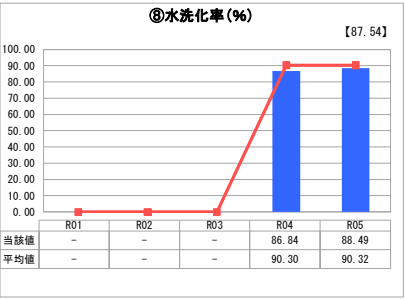
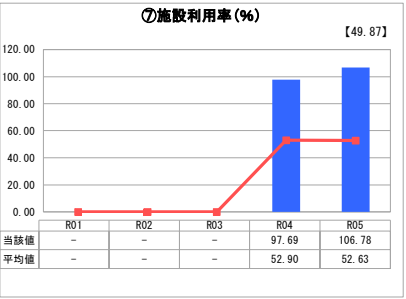
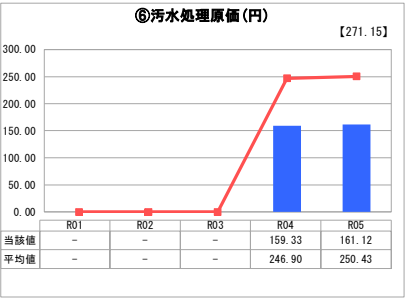
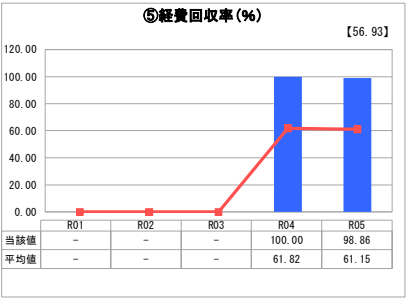
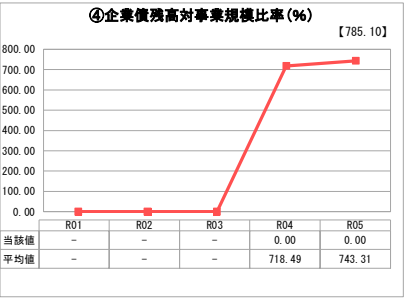
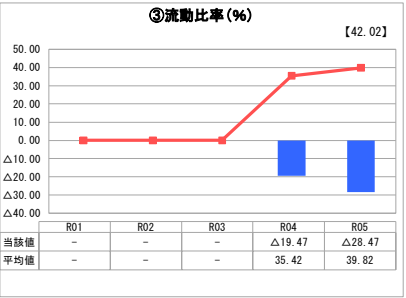
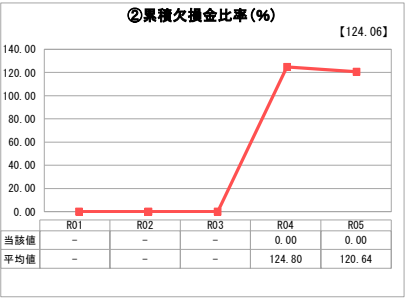
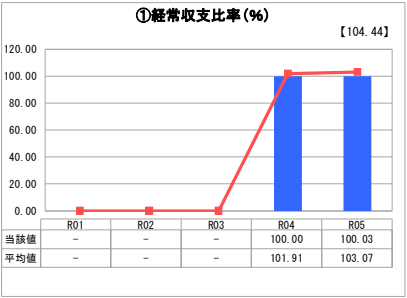
栃木県 宇都宮市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	83.07	2.06	54.19	4,246

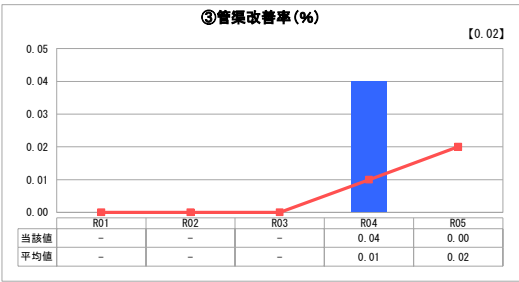
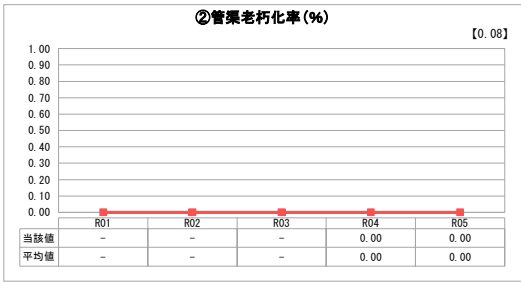
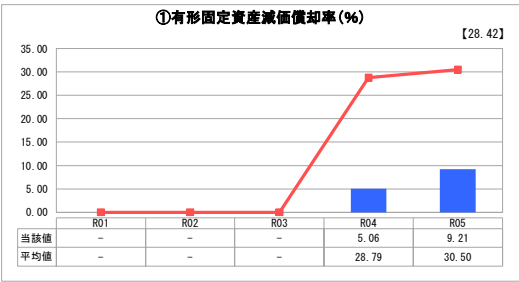
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
515,831	416.85	1,237.45
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
10,578	6.33	1,671.09

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和4年度より、地方公営企業法を適用したため令和3年度以前のデータはなし。

「①経常収支比率」は100%以上となっているが、他会計からの繰入金に依存している状況にある。

「③流動比率」は現金保有高がマイナスのためマイナスとなっているが、下水道事業会計内のセグメント間の資金運用により対応している。

「④企業債残高対事業規模比率」は、元金償還を一般会計負担としていることから、0%となった。

「⑤経費回収率」は汚水処理費の増加により100%を下回った。

類似団体と比較すると、「⑦施設利用率」が類似団体より低くなっており、「⑧水洗化率」が類似団体より高くなっていることから、相対的に効率的な経営が図られている。

「⑧水洗化率」は、類似団体を下回った。

2. 老朽化の状況について

令和4年度より、地方公営企業法を適用したため令和3年以前のデータはなし。

「①有形固定資産減価償却率」は、老朽化の進行により、上昇傾向にある。

「②管渠老朽化率」は、耐用年数を迎えた管渠はなく、0%となっている。

「③管渠改善率」は、令和4年度は他事業に伴う管渠移設工事を実施したが、令和5年度は0%となっている。

類似団体と比較すると、老朽化が進行していない状態にある。

全体総括

農業集落排水事業においては、今後、施設や管渠の経年化が進むため、公共下水道への接続による施設の統廃合の推進や、施設の長寿命化に必要な改築・修繕を計画的に実施し、施設の効率的な維持管理に努めていく必要がある。

そのため、他の下水道事業の経営分析なども踏まえながら、経営状況を的確に把握することで、更なる経営の健全化を図っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。